



お嬢様な巨乳回りを

肉便器

にする話

～サンプル版～

そっ、それってどういうことですか？
なんで私が退学なんですか？

とりあえず落ち着いて。
お茶でも飲みながら
説明しましょう。

私がこれから何をするかは、
すでに彼女の父親は知っている。
知らないのは当の本人だけだ。



わ、わかりました……。
校長の言う通りにします。

これで君のお父様も助かるね♪

堕ちた！

私はこの部屋から逃げられないように、
まずは服を全て脱ぐように命令した。

しょうがない。これを使おう。

えっ？なに？
なにを押し付けてるの？

すっ

電マしらないの？すぐ気持ちよくなって
潮吹きちゃうからね。

で、電マ？





おまじゅん

んっ
!?

ひとしきりその唇とおっぱいを堪能したら、
今度はなつめを押し倒す。

いやあ、すごいおっぱいだね。
でも私も負けてないよ。

今度は何をするつもりなの？

ふふふ

ふふふ

おっぱいの気持ちよさに、私はたまらなくなっちゃって
亀頭をなつめの口の中に押し込んだ。

んんん!?

すずちゃ♡♡

ぐっほっ

うおっ! なつめちゃんのお口
とっっても気持ちいいよ!

すぐっ! あっ!
イクッ!



んー。おっぱい以外は
やっぱりだね！
セックスはしたことがあるの？


まあ、もうおまんこトロトロだし、
媚薬で痛みも快楽になるから
安心して処女喪失してね！

あ、あるわけないでしょー！

じゃあ、今度は君が動いてよ。
お父様のために頑張つてね♪

わ、わかったわよ。
動けばいいんだよ。





いやあ、なつめちゃんのおまんこ
すごく気持ちいいね！
病み付きになっちやうよ♪

ま、まだするの？
もうおまんこ
せーえきまみれよ。

まだまだこれからが
お楽しみだよ！



カメラを覗いてみると、もうだいたいぶバッテリーが減っていた。まだ処女だったロリを犯すのに夢中になっていたようだ。

薬の効果もあつたのだから、彼女の淫乱っぷりは素晴らしい。

この少女にはもつと堕ちてもらわないと。

私は明日からこの少女をどうするか考え始めた。

**お嬢様な巨乳ロリを肉便器にする話
～サンプル版・完～**

肉便器となった少女の続きは本編をご覧ください。